

「熱測定」投稿規定

2009年1月 「熱測定」編集委員会

「熱測定」誌は、熱量測定、熱分析、および熱力学的性質に関する研究分野における成果の発表、討論の場の提供、また、基礎知識の提供、関連分野の紹介、会員への情報提供等を目的とする。投稿原稿の著者は日本熱測定学会員に限らない。

1. 原稿の種類

「熱測定」誌の記事は2種に大別される。

- (A) 論文、ノート、講座、解説、熱測定応用研究のページ：これらは査読を行い編集委員会が掲載の可否を決定する。論文、解説、講座は刷上り8ページ以内、ノートは刷上り3ページ以内、熱測定応用研究のページは刷上り2ページ以内とする。
- (B) 討論会報告、会議報告、談話室、トピックス、会員のページ（追悼・受賞記事を含む）、その他：(A)項に該当しない記事については、編集委員会が掲載の可否を決定する。熱測定討論会報告は刷上り5ページ以内、会議報告は2ページ以内、談話室、トピックス、会員のページは原則として1ページ以内とする。

2. 執筆要領（内容）

- 投稿原稿は未発表であり、かつ今後も他の出版物に掲載予定のないものでなければならない。
- 原稿は和文または英文に限り、内容はできる限り簡潔にする。
- 講座および解説の場合は、フロギストンの原稿（数件の500字程度の用語解説）を編集委員会宛に原稿とともに送付する。
- 論文、講座、解説およびノートの場合は、掲載許可後、著者紹介を編集委員会宛に送付する。

3. 執筆要領（書き方）

- 原稿はA4用紙の片面にダブルスペースで印字すること。余白は上下左右とも3 cm以上とする。刷上りが1ページは2,000字に相当する。
- 原稿の最初のページは、投稿原稿の種類を明記し、題目、著者名、連絡先のみを記入する。題目が65字以上（和文）あるいは12語（英文）以上の場合は、省略した題目も記入する。
- ノートの場合は100語以内、論文、講座および解説の場合は200語以内の英文要旨とその和訳をつける（英文の投稿については和訳は不要）。また、英文のキーワード最大五つまで）のリストを英文要旨の後に付ける。

- 図、表、引用文献および記号について以下に示す。
 - 図と表の掲載位置は、原稿の中に明記する（手書きで記入する場合には右余白部を使う）。図と表は、**Fig.1**、**Table 1**のようにアラビア数字で通し番号をつける。
 - 図は横幅が7 cm以下に縮小されて写真製版されるので、印字サイズ、線の太さに注意する。写真は光沢のある印画紙に、コントラストを強く印画したものを提出する。
 - 図の説明文（英文に限る）は別紙にまとめて印字する。
 - 表（英文に限る）は1頁につき1表だけ（説明文も付けて）印字する。
 - 引用文献と脚注は原稿中該当箇所の右肩に、1), 2)のように括弧付きのアラビア数字で記入し、本文末尾の文献欄に収録する。
 - 記号、用語、単位についてはIUPACの勧告に従う。
 - 上に挙げた投稿規定に規定されていない内容については、最新の「熱測定」誌に掲載された記事の形式を参考として原稿を作成する。
 - 既に公表された図・表を転載して使用する場合には、著者の責任において原著者および出版社の書面による了解を得ておくこと。

4. 査読、著作権、その他

- 査読により改訂を求められた場合は、2ヶ月以内に修正原稿を投稿しなければならない。
- 掲載を許可された記事の著作権は日本熱測定学会が所有する。
- 掲載料は無料とする。ただし、論文およびノートの著者は別刷を最低50部購入しなければならない。

5. 原稿送付

投稿原稿はWORD形式の添付ファイルとして下記アドレスに電子メールで送付する。電子メールでの送付が困難な場合には、印刷したオリジナルとコピー各1部とともに、テキストファイルデータを電子媒体（CD-Rなど）に入れて下記編集委員会宛郵送する。

電子メール送付先：edit@netsu.org

〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-6-7 宮沢ビル601

日本熱測定学会 編集委員会

電話：03-5821-7120、ファックス：03-5821-7439